

生活機能向上グループ活動加算(1月当たり100単位加算)

「興味・関心チェックシート」を実施し、その結果に基づき活動内容を決定し、共通の課題を有する複数の利用者とレクリエーション等の活動を実施することに対する加算

1. 利用者の状況等を把握する。

利用者から聞き取るほか、家族や地域包括支援センター等から情報を得る。

例えば…

- 要支援状態に至った理由と経緯
 - 要支援状態等となる直前の日常生活の自立の程度と家庭内での役割の内容
 - 要支援状態となった後に自立してできなくなったこと、もしくは支障を感じるようになったこと
 - 現在の居宅における家事遂行の状況と家庭内での役割の内容
 - 近隣との交流
- など



2. 「興味・関心チェックシート」を実施する。

「興味・関心チェックシート」を実施し、利用者のやりたいこと、してみたいことを把握する。



3. 「興味・関心チェックシート」を基に、利用者ごとに目標を設定し、目標を踏まえた活動項目を選定する。

「興味・関心チェックシート」で利用者のやりたいこと、興味のあることを基に目標を設定し、活動項目を選定する。

- 長期目標と短期目標を設定する。
- 3か月程度で達成可能な目標(短期目標)を設定する。
- 長期目標はおおむね6か月程度で達成可能な目標とする。
- 活動項目の選定にあたっては、生活意欲を引き出すなど利用者が主体的に参加できるように支援する。



4. 生活機能向上グループ活動に係る計画を作成する。

活動項目の具体的な内容、進め方および実施上の留意点等を記載する。

様式を新たに作成するのではなく、通所型サービス計画書に分かるように記載する。

(※解決すべき課題、短期・長期目標、目標に対する取り組み内容、評価を分かるように記載する。)



5. グループ活動を実施する。

1つのグループごとに実施時間を通じて、1人以上の介護職員等を配置し、同じグループに属する利用者が相互に協力しながら、それぞれが有する能力を発揮できるよう適切な支援を行う。

【活動項目の例】

- 洗濯機・アイロン・ミシン等の操作、ボタン付け等
- 調理家電(電子レンジ・電気ポット等)や調理器具(包丁・皮むき器等)の操作、パン作り等
- 掃除機やモップ等の操作、ガーデニングや畑作業等
- 携帯電話やパソコンなどの機器の操作、日記や健康ノート等の記録作成



6. 3か月ごとのモニタリング・評価時(6か月後)に目標達成の確認をする。

目標の達成状況および利用者の状況等について確認し、必要であれば計画の修正を行う。